

第72回“社会を明るくする運動”東京都推進委員会委員長挨拶

日頃より各地域において、犯罪や非行の防止、更生保護などに御尽力されている皆様に、委員長として心から敬意を表し、厚く御礼を申し上げます。

「多様性と調和」というコンセプトの下、昨年開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、成功裏に幕を閉じ、東京に大きなレガシーを遺しました。私たちは都市の持続可能な発展に向けて、このレガシーをさらに磨き上げていかなければなりません。「街」や「心」の段差が取り払われて誰もがいきいきと輝き、犯罪のない安全・安心に暮らせる東京の実現を目指します。

新型コロナウイルス感染症との闘いが長期化し、人々の孤独・孤立の問題が深刻化しています。誰一人取り残さない包摂的な社会を実現する上で、犯罪や非行を防止すると同時に、罪を犯した人や非行歴のある少年等が孤立することなく更生して再出発できる社会を築くことが大切です。そのためには、多くの人々がそれぞれの立場で、安全・安心な地域社会の構築を進めていく必要がございます。

東京都は、東京都再犯防止推進計画に基づき、民間団体並びに国及び区市町村の関係機関等と連携して、各種施策に引き続き取り組んでまいります。

“社会を明るくする運動”に携わる皆様におかれましても、この運動がより一層、充実・発展し、犯罪や非行のない社会を実現できるよう、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。力を結集し、明るい未来を創り上げてまいりましょう。

第72回“社会を明るくする運動”

東京都推進委員会委員長 東京都知事 小池百合子